

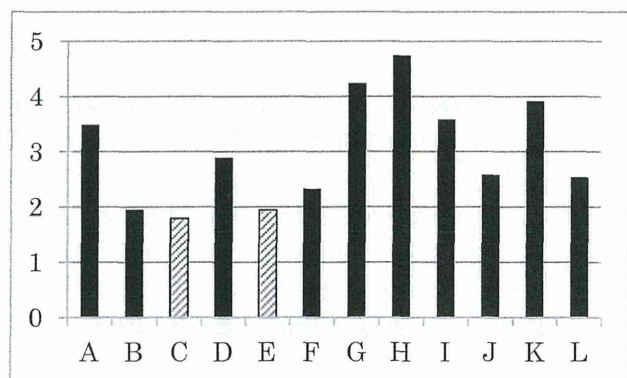
「子どもの事故と対策」に関するユーザーの評価を的確に把握すべくアンケート機能について議論を深め検討した。その結果、多岐にわたる症状の組み合わせから保護者たるユーザーが摂るべき対応を表示する「子どもの救急オンライン」と異なり、保護者に情報・知識を提供し警鐘を鳴らす目的の「子どもの事故と対策」サイトでは、より単純な質問構成とした。即ち、本サイトに対する満足度調査に加え、今後適切にこどもの事故に対応できるか、など4項目にラジオボタンをクリックするだけで回答する形式とした。

(3) #8000情報に関する子どもの救急オンライン検索状況

全国47都道府県のうち#8000相談件数についての情報が入手可能であったのは、12自治体（都・道・府・県単位で具体名は非公開）であった。情報は平成26年2月1日～28日について1時間単位で提供された。

そこでその12自治体について同じ調査期間における子どもの救急オンライン検索ログから#8000情報へのアクセス件数を抽出した。そして正規化するために小児人口1,000人あたりで表示した。（図1）

図1：都道府県別#8000 情報アクセス件数（平成26年2月）対小児人口10,000人



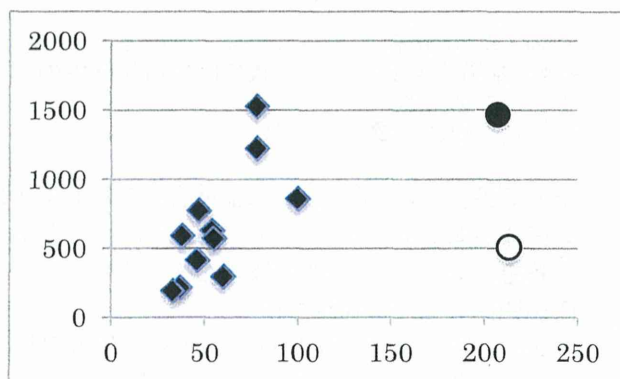
横軸：A～Lは自治体名（順不同）
縦軸：対小児人口10,000人、1日あたりの#8000情報アクセス件数（こどもの救急オンラインのアクセス件数ではないことに注意）

このグラフからも地区ごとに1.5～2倍以上の差があるのが明らかである。しかしこれだけでは、救急体制が整備されているから#8000情報を検索するニーズが低いのか、逆に#8000の情報が十分地域住民に周知さ

れていないので#8000情報を検索するニーズが低いのか判然としない。

そこで、実際の#8000相談件数と情報アクセス件数を対比した（小児人口1000で表示）（図2）。

図2：子どもの救急オンラインでの情報検索と#8000相談件数（平成26年2月）



横軸：#8000情報アクセス件数
縦軸：#8000相談件数
○： C県、 ●： E県

その結果、2つの自治体CとEを除けば正相関の関係を示し#8000情報を検索する件数が多いほど相談件数も多いことが判明した。ここで注目すべきは図2において白丸で示すC県と黒丸で示すE県は図1からわかるように対小児人口1000人当たりのアクセス数は殆ど同一である点である。因みにC県もD県も冬季に積雪などで交通が寸断される地区ではなく、かつ県庁所在地は所謂大都市に区分される、全国でも有数の地区である。従って医療機関へのアクセスの容易さには殆ど差がなく、救急医療体制の差を反映している可能性がある判断される。

次に、各都道府県が小児救急医療に関する情報提供にどの程度熱心であるか、が「子どもの救急オンライン」へのアクセスに影響するかを検討する目的で平成25年度厚労省研究班報告書より「都道府県小児救急医療情報提供率」を引用し、対小児人口1000人で正規化して#8000情報アクセス件数と比較した。（図3）

図3：こどもの救急オンラインでの情報検索と都道府県小児救急医療情報提供率

て長時間にわたり熱心な討議を展開し研究目標の達成にご尽力頂いた以下のWG委員諸先生に深甚の謝意を表します。（あいうえお順；敬称略）

泉 裕之（板橋区医師会病院）

稲毛康司（日本大学板橋病院）

植田育也（静岡県立こども病院）

梅原 実（うめはらこどもクリニック）

中林洋介（青梅市立総合病院）

西山和孝（順天堂大学浦安病院）

また、貴重なご助言と誠意の籠もった対応を戴いた株式会社INEI 富安亜樹氏のご協力に深謝致します。

平成26年度 第1回こどもQQオンライン検討会議 議事録

日 時 : 平成26年7月22日 (火) 午後7時30分～

場 所 : 日本小児科学会事務局会議室

出 席 : (敬称略・順不同) 泉、西山、中林、吉澤、伊藤、松裏
オブザーバー 富安 (株式会社 INEI) ; 赤池 (日本小児科学会)

討議内容

- 1) 挨拶 (吉澤・伊藤)
- 2) 自己紹介
- 3) 委員会成立の経緯説明
 - ・ 昨年までの活動報告 (資料)
 - ・ 昨年度まではWG委員として松裏が個別に委嘱できたが、今年度は理事会決定により日本小児科学会救急委員会の中からこどもQQオンライン検討会議の担当委員を諮問することと決められた。結果的に昨年度までご協力戴いた2名の先生方が委員からはずれ、新たに泉先生、西山先生に加わって頂くことになった
 - ・ 予算は厚労科研吉澤班2年目として割当を受けた範囲で活動する
具体的にはアンケートの設問に加え、「子どもの事故と対策」から2項目程度選択してHPに転載する程度が時間的制約からも精一杯
- 4) 今年度の活動計画
 - ・ 「子どもの事故と対策」からHPへの転載内容について
 - 予防を主眼とするサイトとの基本方針の観点から選択する
 - 「こどもの救急」の内容と重複を避ける
 - 「虐待」は重要だが、本サイトの内容と整合性がとれない
 - 最終的に交通事故、異物 (目・耳・鼻) の予防を取り扱うことと決定した
 - ・ アンケート質問項目の決定
 - 子どもの事故と対策の各頁に共通の質問とする
 - 簡略に回答できるよう質問を工夫する
 - 保護者の行動にポジティブな影響を与えられたか問う質問が望ましい
 - HPの見やすさへのアンケートがメインではなく、見た人の行動変容がなされるかどうかを知りたい。
 - ・ 将来の方向性の検討

内容を理解したか、保護者むけ簡易確認テストを設定したい
サイトの内容をスライドショー形式でまとめDVDなどに収録したい
(乳幼児健診や小児科の待合室などで待ち時間に見てもらおう)

5) その他

- ・ HPの誤植の指摘 (アンケート欄)
夜間・休日に受信できる・・・? → 受診できる
(株)INEIが早急に対応する
- ・ 次回までのアンケート文面案を各自考える

6) 次回会議予定: 8月28日、9月4日 (=第1候補)、9月5日の中から決定

資料

- 1: 子どもの事故と対策 (冊子)
- 2: HP スクリーンショット「子どもの事故と対策」
- 3: 小児救急委員会資料「活動経過と今後の計画」
- 4: HP 改訂案

文責

東邦大学医療センター大森病院小児科
松裏裕行

A. 子どもの事故と対策 改訂4版対応実績

- | | |
|--------------|-----|
| 1) BLS | 対応済 |
| 2) 窒息 | 対応済 |
| 3) 誤飲 | 対応済 |
| 4) 溺水 | 対応済 |
| 5) 交通事故 | |
| 6) 打撲 | |
| 7) 異物（目・耳・鼻） | |
| 8) 虫刺症・咬傷など | |
| 9) 熱中症 | 対応済 |
| 10) 熱傷 | 対応済 |
| 11) 転倒・転落 | 対応済 |

B. アンケート項目案

- 1) 感想（役立った、役に立たなかった etc）
- 2) 一番有用だった項目
- 3) 改善を要する項目
- 4) 改善案
- 5) その他

C. 参考

- 1) このサイトは役に経ちましたか
- 2) 昼間の通常診療時間中に、同じ症状で受診しましたか？ はい いいえ
- 3) お子さんの急病時、医療機関が見つからず困ったことはありますか？
はい いいえ
- 4) 近くに夜間・休日に受信できる応急診療所はありますか？ はい いいえ
- 5) 小児救急電話相談#8000をご存知ですか？ はい いいえ
- 6) お子さんが病気の時、誰に相談しますか？
親族 友人 かかりつけ医 その他
- 7) このサイトをどこで知りましたか？
新聞・テレビ 広報 検索サイト その他

平成26年度 第2回こどもQQオンライン検討会議議事録

日 時 : 平成26年9月4日(火) 午後7時30分～

場 所 : 日本小児科学会事務局会議室

出席予定: (敬称略・順不同)

泉、稲毛、植田、梅原、西山、中林、松裏;

吉澤(厚労科研班長)、伊藤(厚労省); 富安(INEI)

事務局(敬称略): 日本小児科学会 赤池

討議内容:

1) 前回議事録確認

2) 現行救急サイトの動作上の問題点の指摘(梅原先生より)

・症状を入力して結果を求めた後に、ブラウザの「前の頁を表示」機能を使うと、最初に選択した症状とは異なる症状が選択された状態で表示される。

(原因) 「症状」は頁を開くたびにランダムな順序で表示されるのに、チェックボックスは最初に選択した箇所につく＝結果的に異なる症状にチェックしたかのように混乱する

(対応) (株) INEIで対応を検討

3) HP文面案紹介(富安さん)

a. 交通事故

- ・悲しいことになってしまいます → 重傷を負ったり命が危険になりえます
- ・「病院を受診」と「救急車を呼ぶ」を1つの項に纏める
- ・「心肺蘇生を行いながら」の文面を修正
- ・腰帯 → 容態

b. 目/耳/鼻

- ・たまに大人では → 時には
- ・しでかします → 起こしてしまいます
- ・偶然入って・・・ありませんが → 削除
- ・小さなものは・・・ → 削除
- ・ボタン電池を・・・ → 削除
- ・日頃から・・・ → 削除

c. 目

- ・「上記の対応をしてさらに」 → (文頭のみ) 削除
- ・異物をみつけられなかったとしても → 異物がとれても
- ・眼科を → 削除
- ・異物が取れた・・・ → (一文) 削除
- ・急患診療所を → 削除
- ・箸・歯ブラシ → 箸や歯ブラシ

d. 耳

- ・オリーブ油を・・・できます。 → 削除
- ・ただし、その後受診 → ...が、受診した方が・・・
- ・水は・・・ → 削除
- ・痛みが強く眠れないなど日常生活がおくれない → 痛みが強い、
- ・ボタン電池は・・・受診しましょう。 → 削除

e. 鼻

- ・耳鼻科や耳鼻咽喉科を受診 → 受診
- ・日常生活がおくれない → 削除
- ・ボタン電池は・・・受診しましょう。 → 削除

4) アンケート質問項目

- ・このサイトは役に立ちましたか？
- ・この次に同じことがおきた時に対処できそうですか？

5) その他

- ・動画サイトの可能性・有用性について議論した
- ・厚労省の情報をyou tubeで広報した前例がある
- ・サイトの動画化費用は100万円程度は必要か
- ・目・耳・鼻の項目の内容は本サイトの本来の意図と少し異なるが、来年度以降に延期して作成する方針は採らない。今年度中に一定の成果をあげる

6) 次回予定

平成26年10月9日 日本小児科学会事務局会議室 19:30～

以上、文責 松裏 裕行 (東邦大学医療センター大森病院小児科)

A. アンケート項目原案

- 1) 感想（役立った、役に立たなかった etc)
- 2) 一番有用だった項目
- 3) 改善を要する項目
- 4) 改善案
- 5) その他

B. 参考

- 1) このサイトは役に経ちましたか
- 2) 昼間の通常診療時間中に、同じ症状で受診しましたか？ はい いいえ
- 3) お子さんの急病時、医療機関が見つからず困ったことはありますか？
はい いいえ
- 4) 近くに夜間・休日に受信できる応急診療所はありますか？ はい いいえ
- 5) 小児救急電話相談#8000をご存知ですか？ はい いいえ
- 6) お子さんが病気の時、誰に相談しますか？
親族 友人 かかりつけ医 その他
- 7) このサイトをどこで知りましたか？
新聞・テレビ 広報 検索サイト その他

平成26年度 第3回こどもQQオンライン検討会議 議事録

日 時 : 平成26年10月9日 (火) 午後7時30分～

場 所 : 日本小児科学会事務局会議室

出 席 : (敬称略・順不同) 泉、稲毛、植田、梅原、西山、中林、松裏 ;
吉澤 (厚労科研班長)、伊藤 (厚労省)、富安 ((株) INEI)

事務局 (敬称略) : 日本小児科学会 内堀

討議内容 :

1) 前回議事録確認

2) 旧来のプログラムの改修報告 (富安さん)

前回の会議で指摘された不具合はプログラムのバグではなくブラウザのバージョンアップに伴う仕様変更による。Javascriptで改変し速やかに対応した。
(松裏註) (株) INEIは同プログラムを作成した会社ではない。

3) HP案紹介 : 交通事故・異物

(1)交通事故

学童期 →削除

自転車の使用が増え・・・ → 「常に装着することは重要です」の後へ
救急車到着時の救急隊員・・・ → 到着時に救急隊員・・

どんなに・・・ → 削除

みえたとしても、119番・・・ → みえたとしても、119番・・・

* 「こどもの事故と対策」バナー位置変更

* ヘルメットを被ったこどもの挿絵位置変更

(2)異物

鼻の異物 →耳の異物

親御さんは → 削除

「入れたとしたら何を・・・」 → 入れたとしたら「何を・・・」
を優しく・・・ → と優しく・・・

まぶたを・・・なります → 削除

柔らかい綿棒を → 削除

前述の・・・落として → 削除

洗い流すことも → 洗い流すことを

ただ、目の・・・よいでしょう →削除

耳の異物 : ボタン電池 →削除

ボタン電池は・・・受診しましょう →削除

なお、 → 削除

入ったもの・・・あります → 家庭での対処法先頭へ

病院を受診すべき → 削除

鼻の異物：虫、ボタン電池 →削除： パチンコ玉追加

入ったもの・・・あります → 家庭での対処法先頭へ

少し大きなこどもの場合、 →削除

小さなこどもは、 →削除

* 「詰まっていない・・・たり、コヨリで鼻を・・・みましょう」

痛みが強い・・・みましょう →削除

入った・・・。ボタン・・・みましょう →削除

4) アンケート内容の検討

(1)このサイトは役に立ちましたか (はい/いいえ/どちらでもない)

(2)次回同じことが生じた場合に対処できそうですか (はい/いいえ/どちらでもない)

(3)お子さんの急病時に夜間・休日受診できる医療機関がありますか (はい/いいえ)

(4)小児救急電話相談#8000をご存じですか？

(5)このサイトをどこでしましたか？ (新聞/TV/広報誌/検索サイト/その他)

5) その他

平成27年度小児科学会総会への演題応募のご報告

「こども救急サイトのアクセスログによる救急体制の評価の試み」

JSP小児救急委員会こどもの救急小委員会

6) 次回予定

11月13日 (木) 19:30～ 小児科学会事務局会議室

以上 文責 松裏裕行（東邦大学医療センター大森病院小児科）

平成26年度 第4回こどもQQオンライン検討会議 議事録

日 時 : 平成26年11月13日 (火) 午後7時30分～

場 所 : 日本小児科学会事務局会議室

出席 : (敬称略・順不同) 泉、稲毛、植田、梅原、西山、中林、松裏 ; 吉澤 (厚労科研班長)、伊藤 (厚労省) ; 富安 (INEI) 事務局 (敬称略) : 日本小児科学会 内堀

討議内容 :

1) 前回議事録確認

2) 小児救急委員会の報告

- ・ 小児科学会理事会への要望書について

来年度、本サイトの内容をスライドショー化してDVD作成を計画
予算化のために小児科学会理事会に要望書を提出する

- ・ HPにカウンター設置

カウンターは信頼性に乏しいなどの理由で意義が薄れている

HPの信頼性は小児科学会が作成しているということで十分ある

予算上の制約もあり、当小委員会では設置を当面見送ることとする

- ・ 都道府県別アクセス数・#8000相談件数報告

H26年1ヶ月間、しかも限られた都府県の匿名データではあるがアクセス数と比べることにより興味深い考察ができた

- ・ 雑誌掲載、リンク許可など

3) こどもの事故と対策オンライン化案

- ・ 資料を基に討議し、最終決定とした

・ 本サイトは日本小児科学会が展開する「子どもの救急」という内科系救急疾患を扱うサイトであることを鑑みて、小委員会の総意として交通事故に際しての110番通報の重要性などについては、敢えて踏み込まない(記載しない)こととする。

4) 今後の活動方針・予定

- ・原則として小委員会としての会合は今回を最後とし、討議事項が生じた場合にはMailを利用して議論する
- ・ 来年2月下旬に厚労科研吉澤班第3回会議を開催予定
- ・ 将来の活動目標は、上記DVDへの音声解説や動画の追加、サイトからのダウンロード機能、PDF化した小冊子（こどもの救急、事故と対策）をサイトからダウンロードできる機能などを開発などにおく

資料：

- 1) 要望書案
- 2) 第3回議事録案
- 3) 小児救急委員会資料

以上 文責 松裏裕行



こどもの救急TOP > こどもの事故と対策 > 交通事故

こどもの命を救おう

一次救命処置

こどもの家庭内事故を防ごう

溺水

窒息

誤飲

転倒・転落

熱傷

熱中症

交通事故

異物

家庭内 こどもの事故を防ごう

溺水 窒息 誤飲 転落・転倒 熱傷 熱中症 交通事故 異物

こ っ こ っ こ 交 通 事 故

どうやって
予防する？

起こって
しまった時は？

病院を受診
するべき？

交通事故は悲惨な結果につながりやすい一方で、その多くは大人が気をつけてあげれば防げるため、予防がとても大切です。

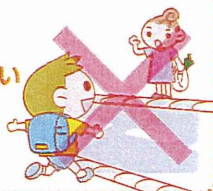
戸外での活動時間が長くなる3・4歳頃から交通事故が急に増加するため、おこさんが小さい頃は道路では目を離さない、遊ばせないことを心がけましょう。そして話が理解できるまでに成長したら、交通ルールを教えてあげましょう。

チャイルドシート未装着時の事故も見逃せません。自家用車では必ず体に合ったチャイルドシートやジュニアシートを使用しましょう。「近所だから」「泣き止まないから」「授乳したいから」という理由でチャイルドシートを装着しないでおくと、万が一事故になった際、子どもだけが車外に投げ出され、重いケガを負ったり命を落としたりすることもあります。そうならないためにも、常に装着することが重要です。

また、車による事故だけでなく自転車の事故が多発しています。自転車に乗る際はヘルメットの着用を徹底させましょう。

どうやって予防する？

道路越しに
子どもに
声をかけない



道路や
その近くでは
遊ばせない



小さな子どもと
歩くときには必ず
手をつなぎ
親が車道側
を歩く



日頃から
交通ルールを
教えておく



車では必ず
チャイルド
シートを
使用する



チャイルドシートは
正しく装着する

※1歳未満・
10kg未満では
後向きに後部座席へ
取付など



チャイルドシートを
取り付ける際
シートベルトで
しっかりと
固定する



自転車では
ヘルメットを
必ず着用
させる



起こってしまった時は？

• 119番通報して 救急車を呼びましょう。

こどもの事故と対策

こどもの救急

8000

近頃の医療機関を統括

このサイトについて

リンク集
サイトマップ
ご利用規約
救急にかかる前に

いいね! 3,481

ツイート 1,828

8+1 12

起こってしまった時は？

- 119番通報して、救急車を呼びましょう。
- まず顔色を観察しましょう。更に体全体を見回して傷がないかを観察するとともに、声をかけて意識の有無を確認しましょう。
- 手足が普通通りに動くかを観察します。正常に動いているようにみえる場合も、手を添えて動かしてみて痛みがないかをチェックしましょう。ただし、痛がる場合は無理に動かすことは禁物です。
- 事故にあった瞬間は、パニックから十分に観察できていないことがあります。後々どうなるかが予測しづらいため、一定の時間をかけて全身の観察をする必要があります。
- 交通事故に遭遇した場合、あわてないことが最も大切です。こどもの姿勢や動き、反応をよく観察して病院受診時、もしくは到着時に救急隊員に伝えましょう。
- 大きな声で呼びかけても反応がない場合には、**心肺蘇生 (CPR)** を行いながら救急車を待つ必要があります。

病院を受診するべき？

- 交通事故の場合、軽そうにみえたとしても病院を受診し詳しく診察を受けましょう。受診後も一定の時間をかけて観察する必要があります。
- こどもは事故によりショックを受けているため、過度の緊張から通常とは異なる反応をしてしまいます (例えば痛くても痛いと感しない・伝えないなど)。まずは落ち着かせるためにも、受診して診察を受けましょう。

▲ページTOPへ



こどもの救急TOP > こどもの事故と対策 > 異物 (目・耳・鼻)

こどもの命を救おう

一次救命処置

こどもの家庭内事故を防ごう

溺水

窒息

誤飲

転倒・転落

熱傷

熱中症

交通事故

異物

こどもの事故と対策

こどもの救急

24時間受付 24時間受付 24時間受付

近くの医療機関を検索

近畿圏内・北海道・沖縄県・システム構築

このサイトについて

リンク集

サイトマップ

ご利用規約

救急にかかる前に

いいね! 3,481

ツイート 1,828

8+1 12+

家庭内
こどもの事故を防ごう

溺水 窒息 誤飲 転落・転倒 熱傷 熱中症 交通事故 異物

い ぶつ め みみ はな
異物 (目・耳・鼻)どうやって
予防する?目の異物と
対処法耳の異物と
対処法鼻の異物と
対処法

こどもは好奇心旺盛で、時には大人では考えつかないようなことを起こしてしまいます。いたずらから小さなものを耳や鼻の中に入れて取れなくなることがあります。小さなものをこども自ら耳や鼻に入れないように、日頃から注意しておきましょう。一方、目や耳・鼻に虫が偶然入ってしまうこともあります。

また、自分自身でものを入れたとき、こどもは怒られるのを恐れて取れないことを話したりしません。そのため入れた場所の痛み・出血や、耳の場合聞こえが悪くなることから初めて気づかれることも少なくありません。そうならないためにも、こどもが耳や鼻をさわる、いつもと違う仕草に気がついたときは「何か入れた?」、入れたとしたら「何をいつ頃入れた?」と優しくたずね、正確な情報を集めましょう。

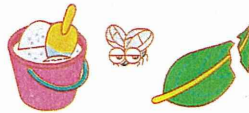
どうやって予防する?

**日頃から
耳・鼻にものを
入れないように
気をつける**

目の異物と対処法

入りやすいもの

- 砂
- 虫
- 植物の切れ端
- ペットの毛



家庭での対処法

- 突然目を痛がる、涙を流す、まはたきなどが増えるなどの行動は、こどもの目に異物が入ったサインです。見落とさないようにしましょう。
- 目をこすらせないことが最も大切です。手を抑さえてもこすらせないようにしましょう。
- 近くでこどもが涙で洗い流されることがあります。少し顔を濡らして涙を拭き取らせて様子を見ましょう。
- それでも痛がるようなら、こどもを寝かせて目の中を観察し、異物を見つめましょう。
- 異物を見つけたら水で洗眼したり、目薬を点眼して洗い流したりしてみましょう。
- 異物が取れると痛みは消え、涙も止まります。

病院を受診するべき?

- 目の中の異物を見つけれなかった場合、あるいは異物が取れたと思って痛みが続く場合は受診しましょう。透明でみえにくい異物が入っている可能性があります。
- 異物は確認できたものの、家庭で除去できなかった場合も受診しましょう。
- 次のような場合は受診しましょう。
 - 運動場などで石灰の混じった砂が入った可能性がある場合。
 - 消毒液やトイレ洗浄液などの化学用品が目に入った場合。
 - 転倒などでまぶたに裂けた傷を負った場合。
 - 転倒などで箸や歯ブラシなどで眼球をついたり、強い打ったりした場合。

耳の異物と対処法

耳の異物と対処法

入しやすいもの

- BB弾・ビーズなどの小さなおもちゃ
- 豆類
- 虫



家庭での対処法

- 入ったものが何であってもピンセットなどで取り出そうとしないようにしましょう。あやまって奥へ押し込んでしまう可能性があります。
- BB弾・ビーズなどの小さなおもちゃや豆類は、耳たぶを後ろ上方に引っ張って下向きにし、反対側の頭の横を軽く叩くと出てくることがあります。
- 虫の場合、暗くした部屋で耳たぶを後ろ上方に引っ張って懐中電灯をあててみましょう。小さい虫なら出てくることがあります。大きい虫ではこの方法では難しいことが多いため、20～30分待って出てこない場合は受診しましょう。

病院を受診すべき？

- 異物が取れなかった場合は受診しましょう。

鼻の異物と対処法

入しやすいもの

- BB弾・ビーズなどの小さなおもちゃ
- 豆類
- パチンコ玉



家庭での対処法

- 入ったものが何であってもピンセットなどで取り出そうとしないようにしましょう。あやまって奥へ押し込んでしまう可能性があります。
- 詰まっていない方の小鼻を押さえて鼻を強くかませてみたり、コヨリで鼻をくすぐってクシャミをさせたりしてみましょう。

病院を受診すべき？

- 異物が取れなかった場合は受診しましょう。

▲ページTOP

こどもの事故と対策

こどもの命を救おう

こどもの家庭内事故を防ごう

溺水

窒息

誤飲

転落・転倒

こ っ じ こ 交 通 事 故

どうやって
予防する？

起こってしま
った時は？

病院を受診
するべき？

熱傷

熱中症

交通事故

異物

交通事故は悲惨な結果につながりやすい一方で、その多くは大人が気をつけてあげれば防げるため、予防がとても大切です。

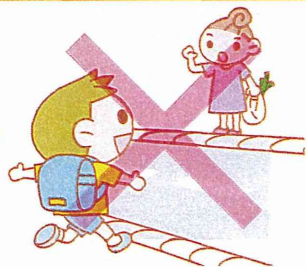
戸外での活動時間が長くなる3・4歳頃から交通事故が急に増加するため、おこさんが小さい頃は道路では目を離さない、遊ばせないことを心がけましょう。そして話が理解できるまでに成長したら、交通ルールを教えてください。

チャイルドシート未装着時の事故も見逃ごせません。自家用車では必ず体に合ったチャイルドシートやジュニアシートを使用しましょう。「近所だから」「泣き止まないから」「授乳したいから」という理由でチャイルドシートを装着しないでおくと、万が一事故になった際、こどもだけが車外に投げ出され、重いケガを負ったり命を落としたりすることもあります。そうならないためにも、常に装着することが重要です。

また、車による事故だけでなく自転車の事故が多発しています。自転車に乗る際はヘルメットの着用を徹底させましょう。

どうやって予防する？

道路越しに
こどもに
声をかけない



道路や
その近くでは
遊ばせない



道路や
その近くでは
遊ばせない

小さなこどもと
歩くときには必ず
手をつなぎ
親が車道側
を歩く



日頃から
交通ルールを
教えておく



車では必ず
チャイルド
シートを
使用する



チャイルドシートは
正しく装着する

※1歳未満・
10kg未満では
後向きに後部座席へ
取付など



チャイルドシートを
取り付ける際
シートベルトで
しっかりと
固定する



自転車では
ヘルメットを
必ず着用
させる





自転車では
ヘルメットを
必ず着用
させる

起こってしまった時は？

- 119番通報して、救急車を呼びましょう。
- まず顔色を観察しましょう。更に体全体を見回して傷がないかを観察するとともに、声をかけて意識の有無を確認しましょう。
- 手足が普通通りに動くかを観察します。正常に動いているようにみえる場合も、手を添えて動かしてみても痛みがないかをチェックしましょう。ただし、痛がる場合は無理に動かすことは禁物です。
- 事故にあった瞬間は、パニックから十分に観察できていないことがあります。後々どうなるかが予測しづらいため、一定の時間をかけて全身の観察をする必要があります。
- 交通事故に遭遇した場合、あわてないことが最も大切です。こどもの姿勢や動き、反応をよく観察して病院受診時、もしくは到着時に救急隊員に伝えましょう。
- 大きな声で呼びかけても反応がない場合には、**心肺蘇生 (CPR)** を行いながら救急車を待つ必要があります。 ▲

病院を受診するべき？

- 交通事故の場合、軽そうにみえたとしても病院を受診し詳しく診察を受けましょう。受診後も一定の時間をかけて観察する必要があります。
- こどもは事故によりショックを受けているため、過度の緊張から通常とは異なる反応をしてしまいます（例えば痛くても痛いと感じない・伝えないなど）。まずは落ち着かせるためにも、受診して診療を受けましょう。 ▲

熱中症 << 交通事故 >> 異物(目・耳・鼻)

こどもの事故と対策TOP | こどもの救急TOP

● 社団法人 日本小児科学会
JAPAN PEDIATRIC SOCIETY

Copyright 2004 JAPAN PEDIATRIC SOCIETY. All rights reserved.



こどもの事故と対策

こどもの命を救おう

こどもの家庭内事故を防ごう

溺水 窒息 誤飲 転落・転倒

いぶつ め みみ はな 異物（目・耳・鼻）

どうやって予防する？ 目の異物と対処法 耳の異物と対処法 鼻の異物と対処法

熱傷 熱中症 交通事故 異物

こどもは好奇心旺盛で、時には大人では考えつかないようなことを起こしてしまいます。

いたずらから小さなものを耳や鼻の中に入れて取れなくなることがあります。小さなものをこども自ら耳や鼻に入れないように、日頃から注意しておきましょう。一方、目や耳・鼻に虫が偶然入ってしまうこともあります。

また、自分自身でもものを入れたとき、こどもは怒られるのを恐れて取れないことを話したがりません。そのため入れた場所の痛み・出血や、耳の場合聞こえが悪くなることから初めて気づかれることも少なくありません。そうならないためにも、こどもが耳や鼻をさわると、いつもと違う仕草に気がついたときは「何か入れた？」、入れたとしたら「何をいつ頃入れた？」と優しくたずね、正確な情報を集めましょう。

どうやって予防する？

日頃から耳・鼻にもものを入れないように気をつける



目の異物と対処法

入りやすいもの

- 砂
- 虫



目の異物と対処法

入りやすいもの

- 砂
- 虫
- 植物の切れ端
- ペットの毛



家庭での対処法

- 突然目を痛がる、涙を流す、まばたきなどが増えるなどの行動は、こどもの目に異物が入ったサインです。見落とさないようにしましょう。
- 目をこすらせないことが最も大切です。手を押さえてでもこすらせないようにしましょう。
- 泣くことで異物が涙で洗い流されることがあります。少し落ち着くまで泣かせて様子を見ましょう。
- それでも痛がるようなら、こどもを寝かせて目の中を観察し、異物を見つけましょう。
- 異物を見つけたら水で洗眼したり、目薬を点眼して洗い流したりしてみましょう。
- 異物が取れると痛みは消え、涙も止まります。

病院を受診するべき？

- 目の中の異物を見つけれなかった場合、あるいは異物が取れたと思っても痛みが続く場合は受診しましょう。透明でみえにくい異物が入っている可能性があります。
- 異物は確認できたものの、家庭で除去できなかった場合も受診しましょう。
- 次のような場合は受診しましょう。
 - 運動場などで石灰の混じった砂が入った可能性がある場合。
 - 消毒液やトイレ洗浄液などの化学品が目に入った場合。
 - 転倒などでまぶたに裂けた傷を負った場合。
 - 転倒などで箸や歯ブラシなどで眼球をついたり、強く打ったりした場合。 ▲

耳の異物と対処法

入りやすいもの

- BB弾・ビーズなどの小さなおもちゃ
- 豆類
- 虫



家庭での対処法

- 入ったものが何であってもピンセットなどで取り出そうとしないようにしましょう。あやまって奥へ押し込んでしまう可能性があります。
- BB弾・ビーズなどの小さなおもちゃや豆類は、耳たぶを後ろ上方に引っ張って下向